

第 3 次子ども読書活動推進計画の進捗について（令和 5 年度実績）

担当課	施策No.
子育て・健幸課	(基本方針 1) 2, 4, 8, 9, 10, 11 (基本方針 5) 52, 56
学校教育課	(基本方針 1) 6, 7 (基本方針 3) 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27 (基本方針 4) 44 (基本方針 6) 61
市民協働課	(基本方針 5) 49, 50, 51, 58
生涯学習課	(基本方針 5) 53, 57
図書館	(基本方針 1) 1, 3, 5, 9 (基本方針 2) 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18 (基本方針 4) 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45 46, 47, 48 (基本方針 5) 50, 51, 54, 55, 57, 58 (基本方針 6) 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65

基本方針１ 家庭における子どもの読書活動の推進

①子どもが読書に親しむ環境づくりの推進

No.	取組内容	指標名	目標値	R5実施内容	R5指標結果	課題	課題解決に向けての取組	関係課
1	赤ちゃんタイムで読み聞かせを行うことで、乳幼児が親子で読書に楽しむ機会を提供します。	赤ちゃんタイムの実施回数（年間）	2 4 回	月 2 回の予定で実施しました。	1 7 回 （ 4 7 7 人）	ボランティアの人材不足による休止する回があった。	読み聞かせボランティア養成講座を開催する。	図書館
2	母子健康手帳アプリを活用し、赤ちゃんタイム等乳幼児向けの情報発信を行います。			母子健康手帳アプリが令和5年7月にて廃止となったため、アプリでの配信はできなくなった。		アプリでの情報発信をすることが困難	LINE等の別の方法を検討する必要がある。	子育て・健幸課
3	母子健康手帳アプリを活用し、月齢に応じた絵本の紹介等、読書に関わる情報発信を行います。			母子健康手帳アプリの配信が終了した。		母子健康手帳アプリの配信が終了した。	母子健康手帳アプリに代わるサービスを検討する必要がある。	図書館
4	市の保健事業の際の待ち時間に、親子で絵本に触れ合うことができるよう図書館と連携し、一定期間絵本の貸し出しを受けます。			健診の待ち時間に、母子保健推進員等により絵本の読み聞かせの実施をした。図書館との連携はできていない。		会場内での絵本の提供について検討する。	以前実施していたように、図書館と連携し、ブックスタート事業の際に図書カードを発行できるとよい。	子育て・健幸課
5	荷物が多かったり時間がなかったりして本を選べない保護者のために、絵本をまとめて貸し出す赤ちゃんえほんバッグを配置します。			赤ちゃんえほんバッグを設置し、貸出を行った。赤ちゃんタイム開催時には赤ちゃんえほんバッグの紹介を行った。		赤ちゃんえほんバッグの中身が陳腐化しないよう定期的な見直しが必要。	赤ちゃんえほんバッグの貸出を継続する。必要に応じて中身を見直す。	図書館
6	家庭教育学級における読書活動の推進に関わる取り組みを、市のホームページ等を活用し情報発信します。			家庭教育学級における読書活動の推進に関わる学校や幼稚園の取り組みを、ホームページの活用を通して紹介した。		学校によって取組みに差がある。	引き続き、市のホームページ等を活用し情報を発信していく。	学校教育課
7	岐阜県発行の家庭教育学級応援通信「みんなで子育て」を配布し、読書活動の啓発を行います。	「みんなで子育て」の配布回数（年間）	1 2 回	「みんなで子育て」を配布し、読書活動の啓発を行う。	1 2 回	家庭によって読書量の差が大きい。	引き続き、通信を配付し、読書活動の啓発を行う。	学校教育課

②子どもが読書に出会う機会の充実

No.	取組内容	指標名	目標値	R5実施内容	R5指標結果	課題	課題解決に向けての取組	関係課
8	乳児健康診査時等に乳児と保護者へ絵本を渡し、絵本を介して心の触れ合いを育み、絵本を開く喜びと読み聞かせの大切さを伝えます。	ブックスタート事業の実施回数 (年間)	2 4 回	乳児健康診査時にブックスタートサポーターから絵本の読み聞かせをし、絵本を介して心の触れ合いをはぐくむことができた。	2 4 回 (3 5 2 人)	サポーターの人数が減っていること。	NPO法人ブックスタートの開催する研修への参加により資質の向上ができるとよい。	子育て・健幸課
9	図書館からの情報提供等やNPO法人ブックスタートが開催する研修会の案内や資料の提供等により、ブックスタートサポーターの資質の向上に努めます。			担当課を通じてサポーターに対し、研修会開催について情報提供した。(図書館) NPO法人ブックスタートが開催する研修会の案内や資料の提供を行った。(子育て・健幸課)		サポーターの研修申込みが無いこと。(図書館) サポーターの人数が減っていること。(子育て・健幸課)	担当課への情報提供の継続。(図書館) NPO法人ブックスタートの開催する研修への参加により資質の向上ができるとよい。(子育て・健幸課)	図書館 子育て・健幸課
10	市内4か所の子育て支援拠点において、絵本の読み聞かせ等の様々な読書活動を推進します。			子育て支援拠点において、絵本の読み聞かせ等を行い、絵本に触れる機会がつけられるなど、読書活動の推進につながった。		絵本の読み聞かせの大切さや意義などの理解不足の傾向がある。	保護者等へ絵本の読み聞かせの大切さや意義などを周知する。	子育て・健幸課
11	市のホームページや子育てハンドブック、母子健康手帳アプリ等を活用し、子どもが読書に出会う機会の周知に努めます。			市のホームページや子育てハンドブック等により読書に出会う機会の周知に努めた。		母子健康手帳アプリは令和5年7月に廃止となったため、他の機会を利用した周知を検討する必要がある。	LINE等の別の方法を検討する必要がある。	子育て・健幸課

基本方針 2 幼稚園・保育園・認定こども園における子ども読書活動の推進

①本に親しむ場の充実

No.	取組内容	指標名	目標値	R5実施内容	R5指標結果	課題	課題解決に向けての取組	関係課
12	読み聞かせボランティアの紹介や絵本や紙芝居を貸し出しし、各園での読み聞かせが充実するよう努めます。【新規】			各園に対し、図書館だよりにて読み聞かせボランティアの紹介について周知しました。		保育士での読み聞かせを行っており、ボランティアの紹介を求められなかった。	各園に対し、図書館だよりにて読み聞かせボランティアの紹介について周知を継続する。	図書館
13	団体貸出の利用を啓発し、各園の読書環境の充実に努めます。			図書館だよりで団体貸し出しの周知や新刊情報を提供した。		団体での貸し出しに新刊を借りられた場合、一般の利用者が借りたい本を借りるのに時間がかかる。	新刊の貸し出しについては、貸出期間を一般の利用者と同じにする（団体貸し出しの期間を30日から14日に変更する）などの対応をする。	図書館

②市立図書館や保護者、ボランティアとの連携体制の充実

No.	取組内容	指標名	目標値	R5実施内容	R5指標結果	課題	課題解決に向けての取組	関係課
14	市立図書館主催の子ども向けイベント等の情報を各園に提供し、広く周知を図ります。【新規】			図書館イベントのチラシやポスターを配布し、情報提供を図った。		図書館行事への関心不足。	HPやチラシ、ポスター、スグール等による情報提供を継続する。	図書館
15	保護者への読書啓発のヒントとなるような情報を提供し、園と保護者との連携体制の強化を支援します。			今年度から市内幼稚園等にも図書館だよりの配布を開始し、情報提供を図った。		図書館行事に対する認知度の低さ。	図書館だより等を通じた情報提供を継続する。	図書館

③園の指導体制の充実

No.	取組内容	指標名	目標値	R5実施内容	R5指標結果	課題	課題解決に向けての取組	関係課
16	研修会の案内や資料等の提供を行い、各園の指導者の資質向上を図ります。			県で主催する研修等について、各園に情報提供しました。		各園指導者における研修等に参加するための時間的な調整	時間的な余裕をもった各園への周知を行う。	図書館
17	園での指導の参考になるような専門書・参考書を充実させ、指導者の資質向上に資する環境を整えます。【新規】			図書購入予算が大幅に減額されたため、専門書等の購入ができなかった。		予算の獲得。	雑誌スポンサー等の周知による独自の財源確保に努める。	図書館

④園図書室の整備・充実

No.	取組内容	指標名	目標値	R5実施内容	R5指標結果	課題	課題解決に向けての取組	関係課
18	発達段階に応じた図書の紹介や幼児向け図書のベストリーダーを紹介し、各園の選書の参考となるような情報提供を行います。			今年度から市内幼稚園等にも図書館だよりの配布を開始し、年齢に応じた図書の紹介を行った。		保護者に対する図書館だよりの周知不足	図書館だより等を通じた情報提供を継続する。	図書館

基本方針3 小・中学校等における子ども読書活動の推進

①学校図書館利用の年間指導計画の充実

No.	取組内容	指標名	目標値	R5実施内容	R5指標結果	課題	課題解決に向けての取組	関係課
19	学校図書館利用の年間指導計画を作成し、学校の教育活動全体の中で共通理解を図り、読書指導を行います。			図書館教育の全体計画や年間指導計画を作成し、学校の教育活動全体の中で共通理解を図り、読書指導を行った。		I C T活用教育に学校図書館をどのように位置付けていくとよいのか考える必要がある。	情報教育担当と連携をして年間指導計画を作成する。	学校教育課
20	図書主任会を開催し、県や市の方向性を伝え共通理解を図ります。			年度初め、校長会の資料に載せたり、市の重点のリーフレットを全教職員に配付したりして理解に努めた。また、夏休み期間中に図書主任会を実施し、県や市の方向性を伝え共通理解を図った。		主任会での伝達のため、全教職員への周知ができているのか確認できていない。	県からの情報を確実に各学校に伝達すし、適宜、各学校に確認する。	学校教育課

②読書指導の充実

No.	取組内容	指標名	目標値	R5実施内容	R5指標結果	課題	課題解決に向けての取組	関係課
21	読書ファイルを活用し、自分自身の成長を確認できるようにするとともに、発達段階に合わせた図書の紹介を行います。また、児童・生徒による委員会活動において、「おすすめ本の紹介」、「図書館まつり」等を通して、読書の機会を増やしたり、読書の質を高めたりします。			読書ファイルを活用し、児童生徒自身の成長を形として残している。委員会や教員が各学年に合わせたおすすめの本を紹介し、読書への関心を高めた。		読書ファイルを見返して自分の成長を振り返る場があまり位置付けられていない。	学期末等に振り返りの場を位置付ける。	学校教育課
22	図書主任会で各校の実践交流を行い、大切にしていることや取り組みを共有し、自校の実践に生かします。			各中学校区で実践交流をし、各校の大切にしていることや取組を共有し、自校の実践に生かせるようにした。		交流後、自校の実践に活かしている学校が少ない。	適宜、実態について、各学校に確認する。	学校教育課

③学校図書館の整備・充実

No.	取組内容	指標名	目標値	R5実施内容	R5指標結果	課題	課題解決に向けての取組	関係課
23	児童・生徒や教師の要望を取り入れながら、蔵書の充実に努めます。			児童・生徒や教師にアンケート調査を行い、新書の選定をしている。		予算面ですべての要望に応えることができない。	要望を一部取り入れながら、計画的に蔵書の充実に図る。	学校教育課
24	読書まつりや読書週間 におすすめ本を紹介する等、学校図書館の本に関心を持てるような企画を実施します。	学校図書館に関する企画を実施した学校数	1 3 校	「先生のおすすめの本」や「図書委員が選ぶ一冊」など児童生徒・教師が本の紹介をし、図書館の本に関心をもてるような企画を考え実施した。	1 3 校	学校間で取組みに差がある。	図書主任会等で各行の取組みを交流する。	学校教育課
25	各教科や宿泊研修先と関連付けたコーナーの設置やパスファインダーを活用する等、学びの拠点となる工夫を行います。			各教科や宿泊研修先と関連付けたコーナーを位置付け学びの拠点とする工夫も行った。また、一部の学校では、児童生徒が調べ学習をするときに必要となるキーワードをリストアップし、パスファインダーにそのキーワードに関する本がいくつか記されている。		パスファインダーについて、図書整理員が本の選考をしている学校が大半である。今後は児童生徒自身が作り上げていけるようにする。	実践している学校を紹介する。	学校教育課
26	市立図書館の団体貸出や電子書籍を利用し、授業や調べもの学習等で活用します。			市立図書館と連携し、授業で使いたい本など長期間借りている。令和5年度から全学校で電子書籍の利用が可能となり、授業等で活用した。		多くの学校が活用しているが、貸出数や利用回数は学校間で差がある	団体貸し出しや電子書籍について、全教職員に周知できる場を位置付ける。	学校教育課

④家庭読書のすすめ

No.	取組内容	指標名	目標値	R5実施内容	R5指標結果	課題	課題解決に向けての取組	関係課
27	学校だよりを通して、学校図書館の取り組み等を保護者紹介し、家庭読書の啓発に努めます。			図書館だよりを通して学校図書館の様子が保護者にも伝わるようにした。		学校間で差がある。	ホームページなども活用し、学校での様子を伝える。	学校教育課

基本方針４ 市立図書館における子ども読書活動の推進

①子ども向け図書の充実

No.	取組内容	指標名	目標値	R5実施内容	R5指標結果	課題	課題解決に向けての取組	関係課
28	貸出ベストや予約ベスト、リクエストカード等を参考に、子どもが興味のある図書の把握に努めます。			貸出ベストや予約ベスト、リクエストカード等を参考にするとともに、電子書籍アンケートを参考にニーズの把握を図った。		アンケートへの協力が少ない。	他館の情報やネットでの情報収集など、引き続き子どものニーズの把握に努める。	図書館
29	把握した子どものニーズを参考に図書の選書を行い、図書の充実を図ります。	児童書の蔵書数（令和９年度末）	５０，０００冊	把握したニーズを基に、児童書の選書を実施した。	５０，５１５冊	予算が減額されており、ニーズ通りの選書が困難。	予算の獲得を図る。	図書館
30	はしま電子図書館の蔵書の充実を図るとともに、子どもへの利用啓発を行います。【新規】	電子書籍（児童書）の蔵書数（令和９年度末）	１，２００冊	デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、電子書籍の拡充を図った。	１，５２７冊	今後は自主財源を基にした予算確保が必要。	予算の獲得を図る。	図書館

②子ども向け事業の推進

No.	取組内容	指標名	目標値	R5実施内容	R5指標結果	課題	課題解決に向けての取組	関係課
31	子どもの読書週間に合わせたイベントや夏休みイベント、図書館まつりを開催し、子どもが図書館に来館するきっかけを提供します。	子ども向けイベントの開催回数（年間）	３回	子どもの読書週間イベント、夏休みイベント、図書館まつりの他、今年度はキッチンカーイベントと連動したイベントを実施した。	４回	新規に開催したボードゲームへの参加者が少なかった。	定期的な開催に努め、市民への周知に努める。	図書館
32	市立図書館の児童書コーナーにおいて、子どもの読書意欲の向上に寄与するような企画展示を行います。			季節に合わせた展示や職場体験に参加した中学生のおすすめ本の展示等を行った。		子供の関心を得られるような展示内容の企画。	子どもの読書意欲の向上に寄与するような企画展示を継続する。	図書館
33	「赤ちゃんタイム」や「おはなしひろば」にて読み聞かせを行い、幼少期から読書に親しむきっかけを提供します。	赤ちゃんタイムの実施回数（年間）（再掲）	２４回	赤ちゃんタイムやおはなし広場を実施した。	１７回 （４７７人）	ボランティアが集まらず、実施できないことがあった。	赤ちゃんタイムやおはなし広場を継続するとともに、ボランティアの養成に努める。	図書館
		おはなしひろばの実施回数（年間）	２４回		２２回 （３９１人）			
34	読書するきっかけや市立図書館を利用する動機づけとなるよう読書通帳の活用を働きかけます。			館内の目につきやすい場所に読書通帳を設置しPRするとともに、図書館見学の際は活用するよう呼びかけを実施した。		読書通帳への需要が少ない。	読書通帳活用の啓発を継続する。	図書館
35	子どもが読書に興味を持つとともに、表現する楽しさを知るきっかけとなるよう手づくり絵本コンクールを開催します。【新規】			夏休み期間に合わせ、手づくり絵本コンクールを実施した。		手作り絵本を制作することに対する関心の低下。	羽島市PR部門など、コンクールにおける新しい賞の新設するなど、児童生徒の関心が集まるような企画に努める。	図書館

③市立図書館への理解を深める機会の充実

No.	取組内容	指標名	目標値	R5実施内容	R5指標結果	課題	課題解決に向けての取組	関係課
36	各園・各校からの図書館見学を随時受け入れて図書館への理解を深める機会を提供します。	図書館見学の受入回数（年間）	1 2 回	小学校低学年を中心に、図書館見学の受け入れを行った。	1 0 回	図書館見学を実施する学校に偏りがある。	図書館見学の受け入れを継続するとともに、図書館見学の周知を行う。	図書館
37	中学生の職場体験や高校生以上のインターンシップを積極的に受け入れ、図書館の活動を理解する機会を設けます。	職場体験・インターンシップの受入回数（年間）	5 回	中学生の職場体験や高校生のインターンシップの受け入れを行った。	9 回	職場体験において、参加する学校が固定化している。	中学生の職場体験や高校生のインターンシップの受け入れを継続する。	図書館

④子どもの読書に関する情報提供の充実

No.	取組内容	指標名	目標値	R5実施内容	R5指標結果	課題	課題解決に向けての取組	関係課
38	図書館だよりを発行し、読書に関わる情報発信を行うとともに、学校を通じて配布することにより市立図書館へ来館するきっかけづくりを行います。	図書館だよりの発行回数（年間）	6 回	2 か月に 1 回、図書館だよりを発行した。	6 回	一般の書籍か電子書籍どうかかわかりづらい。	誌名の後ろに電子書籍と解るように印をつけた。	図書館
39	子ども向けのレファレンスサービスを実施し、自ら調べ学ぶ体制づくりに貢献します。			1 階カウンターに子どもレファレンスコーナーを設置し、レファレンスサービスを提供した。		子どもレファレンスコーナーの認知度が低い。	子どもレファレンスコーナーの設置を継続するとともに、利用を啓発する。	図書館
40	子どもの興味や関心がある事柄や郷土学習に役立てられるようなテーマでパスファインダーを作成し提供します。			子ども向けパスファインダーの設置を行った。		テーマが古くなってきており、見直しが必要。	新たなテーマを模索する。	図書館
41	市立図書館が主催する各種イベントのほか、関係機関が開催する読書に関わるイベントの情報発信を行います。			岐阜県図書館をはじめとする近隣図書館等のイベントポスターやチラシを掲示し、情報発信を行った。		近隣の図書館に対する関心がない。	近隣図書館等のイベント情報の発信を継続する。	図書館
42	市公式 L I N E アカウント、A I スタッフ 等を活用した情報提供や L o G o フォームを利用した情報収集等、新たな情報ツールの活用を図ります。【新規】			市公式 L I N E アカウントや A I スタッフを活用し、情報提供を行った。L o G o フォームを活用したアンケートを実施した。		アンケートへの協力者が少ない。	新たな情報ツールの活用を継続する。	図書館

⑤学校図書館・ボランティア等との連携の推進

No.	取組内容	指標名	目標値	R5実施内容	R5指標結果	課題	課題解決に向けての取組	関係課
43	図書主任会等に出席し、市立図書館と学校との連携強化を図るとともに、団体貸出の利用や主催するイベント等の参加を啓発します。			図書主任会に出席し、各校図書担当者と情報共有を行った。		学校図書館からの情報提供が無い。	図書主任会に出席し、各校図書担当者と情報共有を継続する。	図書館
44	学校と連携し、はしま電子図書館の活用を推進します。教育委員会と連携し、1人1台端末環境下における取り組みを検討します。【新規】			全児童生徒がはしま電子図書館を利用できる環境を整備した。（図書館） 年度初め、各学校にはしま電子図書館について説明する場を設け、全職員に周知を図った。学校の実態に応じて授業等で活用した。（学校教育課）		中学校での電子書籍の利用が伸び悩んでいる。（図書館） 学校間で活用の差がある。（学校教育課）	教育委員会等と連携し、電子書籍の活用方法を検討する。（図書館） 校長会等で再度周知し、活用の推進をしていく。（学校教育課）	図書館 学校教育課
45	ボランティア等を活用した読み聞かせの実施や、各種イベントの開催を通じて関係ボランティアとの連携強化を図ります。			読み聞かせをはじめとする様々な図書館イベントにおいてボランティアと連携して実施した。		後継者の育成が課題となっている。	様々な図書館イベントにおいてボランティアと連携を継続する。	図書館
46	県公共図書館協議会等を通じて他の公共図書館の実践を学んだり、先進的な取り組みを行っている図書館と情報交換を行い、自館の取り組みにも生かせる体制をつくります。【新規】			県公共図書館協議会等を通じて先進事例や特徴的な取組を学ぶとともに、今年度は研修会の講師として羽島市の実践内容を発表した。		今年度は羽島市が幹事として先進地視察を実施する必要がある。	企業に運営を委託するなど、当図書館とは異なる運用形態の図書館について検討している。	図書館

⑥職員等の資質の向上

No.	取組内容	指標名	目標値	R5実施内容	R5指標結果	課題	課題解決に向けての取組	関係課
47	各種研修会等に参加し職員の資質向上を図るとともに、習得した知識や技能を他の職員にも還元し、職員全体のスキルアップを図ります。			正職員だけでなく、会計年度任用職員にも研修会に参加してもらいスキルアップを図った。		人事異動に伴い、随時研修を受講していく必要がある。	研修会の参加を継続し、職員のスキルアップを図る。	図書館
48	関係機関等へ各種研修会の情報や資料の提供を行い、読書に関わる関係者等の資質向上を図ります。			研修会等の情報をボランティア団体等へも周知した。		各団体が希望する研修内容のものが少ない。	今年度は、図書館が主体となって読み聞かせのスキルアップ講座を実施する。	図書館

基本方針5 地域における子ども読書活動の推進

①コミュニティセンターでの取り組み

No.	取組内容	指標名	目標値	R5実施内容	R5指標結果	課題	課題解決に向けての取組	関係課
49	学校や市立図書館との更なる連携を図り、地域の特性に応じた事業の実施に取り組みます。			下中コミュニティセンターでは、図書館の利用者数が少ないため、「子供まつり」の一環として図書の貸出事業を実施した。 江吉良コミュニティセンターでは、夏休みに「図書館開放事業」を実施した。		コミュニティセンターに設置されている図書の貸し出し状況は施設ごとに差がある。 また、図書の貸し出しを実施していない施設もあった。	コミュニティセンター間での事業の共催や、学校や市立図書館との事業の集約や連携を検討する。	市民協働課
50	各コミュニティセンターの特性に応じ、図書の充実を図るとともに市立図書館の団体貸出を活用する等、地域の読書環境の整備を図ります。			団体貸し出しの周知に努めた。（図書館） 江吉良コミュニティセンターでは市立図書館の団体貸出を利用し、地域の読書環境の充実を図った。		団体貸し出しを利用するコミセンが少ない。（図書館） 市立図書館の団体貸出の利用が限定的である。（市民協働課）	団体貸し出しの周知の継続。（図書館） 団体貸出の活用を促進するため周知を行う。（市民協働課）	図書館 市民協働課
51	地域における生涯学習の拠点として、読書推進に関わる情報等を発信します。			図書館イベント等の情報をチラシやポスターを配布し情報提供した。（図書館） 各コミュニティセンターにて、市立図書館がイベントを行う際にポスターやチラシを設置した。		コミセン利用者における図書館への関心度の低さ。（図書館） 周知方法が限定されている。（市民協働課）	チラシやポスターによる情報提供を継続する。（図書館） ポスターやチラシ以外の情報発信方法を検討する。（市民協働課）	図書館 市民協働課

②地域での取り組みの充実

No.	取組内容	指標名	目標値	R5実施内容	R5指標結果	課題	課題解決に向けての取組	関係課
52	放課後児童教室において、図書を整備する等、教室参加者が読書に取り組める体制を整備します。【新規】	図書を整備した教室の数（令和9年度末）	9 教室	放課後児童教室内に、図書を整備し、読書環境の整備を図った。	9 教室	読書の大切さや意義などの理解不足の傾向がある。	読書の大切さや意義などを周知する。	子育て・健幸課
53	放課後子ども教室において、読み聞かせボランティアの活用や読書する時間を設る等、教室参加者が本に親しむきっかけをつくります。			8教室において、ボランティア講師による読み聞かせや紙しばいを実施した。		読み聞かせを行うだけではなく、参加者が自ら本に興味を持つきっかけとなるよう内容を工夫する必要がある。	講師と連携の上、遊びなども取り入れて、参加者が親しみやすい内容とする。	生涯学習課

③地域人材の活用・連携

No.	取組内容	指標名	目標値	R5実施内容	R5指標結果	課題	課題解決に向けての取組	関係課
54	読み聞かせボランティアと連携し、「赤ちゃんタイム」や「おはなしひろば」を開催します。			読み聞かせボランティアと連携し、イベントを開催した。		ボランティアのの後継者不足	読み聞かせボランティア養成講座を開催する。	図書館
55	図書館友の会や折り紙サークル等の市民活動団体と連携し、図書館まつり等のイベントの企画や運営を行います。【新規】			市民活動団体と連携し、図書館まつり等のイベントを開催した。		各団体の活動内容に対する認知度が低い。	イベント開催時に、各団体の活動内容等を周知する。	図書館
56	ブックスタートサポーターと連携し、ブックスタート事業を実施します。			乳幼児健診時にブックスタートサポーターによるブックスタート事業を実施した。		サポーター人員が減少傾向にある。	今のメンバーで日程を調整し実施する。	子育て・健幸課
57	はしまシティカレッジとの連携を推進し、読書に関わるボランティア等の資質向上を図ります。【新規】			はしまシティカレッジの受講者によるイベントでの読み聞かせを実施した。（図書館） 4名を認定講師として多様な講座を実施した。フォローアップ講座を実施にて講師の資質向上を図り、地域での自主的な活動を推進した。（生涯学習課）		シティカレッジ受講者の活動の場がない。（図書館） 学びの循環による人材育成を推進するため、読書や図書に関する人材を含めたより多くの市民に広く制度を周知する必要がある。（生涯学習課）	定期的な講習会等への場所を提供する。（図書館） チラシや広報紙のみならず市SNSの活用や、認定講師の地域活動を通して継続的な周知を行う。（生涯学習課）	図書館 生涯学習課
58	市民活動団体制度を推進し、読書に関わるボランティア等の活動支援を行います。【新規】			図書館のイベントへの協力団体が加入するボランティア活動保険の保険代を負担し、支援を行った。（図書館） 市に関連したボランティア団体として、市ホームページに読書に関わるボランティア団体を掲載している。（市民協働課）		ボランティア団体参加者の把握（図書館） 周知方法が限定されている。（市民協働課）	団体参加者の名簿による参加者の把握（図書館） 市ホームページ以外による活動内容の周知方法を検討する。（市民協働課）	図書館 市民協働課

基本方針6 誰一人取り残さない読書環境の整備

①読書のバリアフリー化の推進

No.	取組内容	指標名	目標値	R5実施内容	R5指標結果	課題	課題解決に向けての取組	関係課
59	点字本やL Lブック を充実し、様々な読書に対して障がいのある子どもに対応できるように整備します。【新規】			点字本やL Lブックを収集するとともに、バリアフリーコーナーを設けた。		バリアフリー図書の利用が伸び悩んでいる。	電子書籍を紹介するとともに、バリアフリー図書を必要とする子どもへの周知方法を検討する。	図書館
60	外国にルーツを持つ子どもが、読書に親しむことができるように多言語対応の図書を充実させます。【新規】			多言語対応の図書を収集するとともに、多言語図書を集めたコーナーを設けた。		多言語図書の利用が伸び悩んでいる。	多言語図書を必要とする子どもへの周知方法を検討する。	図書館
61	視覚や四肢の障がい等により読書することが困難な子どもでも本に親しめる環境を整備するため、電子書籍の活用を推進します。【新規】			全ての小中学校で、はしま電子図書館の電子書籍が利用できる環境を整備した。（図書館） 令和5年度については対象とする児童生徒がいなかったため、活用はしていない。内容については、各学校に周知した。（学校教育課）		年齢が上がるに伴い、読書をする子が少なくなっている（図書館） 環境を整備するために読書することが困難な子どもの就学状況について事前に把握しておく必要がある。（学校教育課）	隙間時間でも利用できる電子書籍の利便性を周知する。（図書館） 関係機関と連携を図り児童生徒について把握する。（学校教育課）	図書館 学校教育課
62	マルチメディアDAISY図書の貸し出しを行い、読書が困難な子どもでも読書できる機会を提供します。【新規】	マルチメディアDAYSY図書の蔵書数（令和9年度末）	20点	マルチメディアDAISY図書の収集を行った。	12点	マルチメディアDAISY図書の利用が伸び悩んでいる。	マルチメディアDAISY図書の収集を継続するとともに、周知を行う。	図書館
63	音声資料や映像資料等の視聴覚資料を充実させるとともに、字幕表示や副音声機能等を搭載した資料を積極的に取り入れます。【新規】	視聴覚資料の蔵書数（令和9年度末）	660点	副音声機能や字幕機能を搭載した視聴覚資料の収集を行った。	723点	限られた予算の中で、バリアフリー機能を搭載した視聴覚資料の収集が難しくなっている。 ※寄贈資料により目標値を超えているが、利用者の要望に沿ったものではない。（R5寄贈点数：47点、購入：18点）	予算の獲得を図る。	図書館
64	図書館のホームページだけでなく市ホームページを活用することにより、文章の読み上げ機能や多言語対応できるように努めます。【新規】			図書館ホームページに掲載されている情報は、市ホームページにも掲載している。		図書館行事に対する関心度の低さ。	市ホームページも並行して活用した情報提供に努める。	図書館
65	情報提供の充実や団体貸出、読み聞かせボランティアの紹介等を通じ、市内の特別支援学校や障がい児通所支援事業所との連携を推進します。【新規】			特別支援学校への情報提供を行うとともに、障碍児通所支援事業による団体貸出を実施した。		特別支援学校や障がい児施設の図書館利用が少ない。	特別支援学校への情報提供を行うとともに、障がい児通所支援事業による団体貸出を継続する。	図書館